

研究課題番号	SⅡ-9-3
研究課題名	県外最終処分・周辺地域の将来デザイン利用に向けた社会受容性評価と合意形成フレームワークに関する研究
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	(国研)産業技術総合研究所
研究代表者名	保高 徹生

1. 委員の指摘及び提言概要

県外最終処分および中間貯蔵施設周辺復興地域の将来デザインに応じた土地利用に関する円滑かつ公正な合意形成に向けて、技術的および社会的要素を融合した研究が順調に実施され、計画以上の進展が得られている。また、多元的公正の視点からの議論を集団討議実験として多く重ねており、建設的な議論がなされる条件を明らかにしたことで高水準の中間成果に到達しているほか、最適な意思決定フレームワーク提案の可能性が生まれているものと評価される。一方で、導出された結果に常識的な内容が含まれる面もあり、研究の科学的新規性や説得力に留意しておく必要がある。サブテーマ2はワークショップでの結果報告にとどまっていることから、他のテーマが示す技術的な解決手段を本テーマがどのように生かすのか、とくにテーマ2との相互連携に立って示すことを期待する。学術面だけでなく環境政策への貢献に期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A